



プロバスだより

2010年1月14日発行

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

第170号

編集・発行：情報委員会

2009～10年度テーマ

広げよう！プロバスクラブの楽しみの『環』

第 170 回例会・臨時総会

日 時：平成 21 年 12 月 10 日 12:00～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者： 53 名 出席率 84%

(会員総数 67 名、休会 4 名)

1. 宮城例会委員長の司会で開会



2. 会食

3. 下山会長挨拶



皆さん今日は。今年も師走となりまして、皆さん気ぜわしいこの頃と存じます。本日は臨時総会を合わせての例会であり、30分早くお集りねがいご苦勞様で御座います。

さて11月は我がプロバスクラブの行事が数々ありました。野外研修では明治の近代建築や科学技術の先端を垣間見せて頂きました。

全日本のプロバス協議会の理事会・交流会では、北は旭川、南は鹿児島まで17クラブ、理事さん方、近隣のクラブの方、そして我々ですが、大変好評の会となりました、八王子でこの様な会がもてるのもう暫くは機会が無いでしょう。

第30回記念のいちょう祭りでは、延20数名の方々が安全案内で協力しました。会員の皆様の中には夫々の持ち場で参加された方も多く居られます。

同好会も定例会のある同好会のほか、美術鑑賞会のこころみがあり、写真同好会の秋の撮影会も行われました。

もちろん地域奉仕中心にサロンの準備も進めら

れました。15周年記念事業実行委員会の部門別の会合やイベントのための諸準備も進みました。

こんなわけで、みなさんご苦勞さまでしたが、我々の確かな歩であり、ともに喜びましょう。

臨時総会がありますので、挨拶はこれまでとします。

4. 臨時総会

恒例により下山会長が議長に選出され、議長は書記に高瀬謙輔会員、議事録署名人に大野幸二会員、荻島靖久会員を指名し、以下の議案を審議した。

第 I 号議案 第 14 回生涯学習サロン特別会計予算書 (案)

荒正勝幹事から提案され、質疑、ご意見は無く、本案につき挙手による採決を求めたところ、異議なく承認された。

第 II 号議案

東京八王子プロバスクラブ会則改定 (案)

東京八王子プロバスクラブ運営細則改定 (案)

東京八王子プロバスクラブ入退会等手続きに関する細則改定 (案)

これらは関連する議案であるので、会則改定小委員会(本年9月発足)の下山邦夫委員から一括して提案された。質疑応答がなされ、この内容は記録に留めることとして、答弁を含めて本案につき挙手による採決を求めたところ、賛成多数で承認された。

5. ハッピーコイン報告

下山会長から、25名の方からのハッピーコインの紹介がありました。(詳細は4～5頁)

6. バースデー報告



下山会長から、ハッピーコインの紹介に引き続き、11月のバースデー報告がされました。

今月は、宮城安子、飯田富美子の2名の会員で、池田ときえ会員手作りのバースデーカードが贈られました。

7. ハッピー花束贈呈



第30回を迎えた
“八王子いちよう祭り”
創設者 大野聖二会員へ。

8. 新入会員紹介

推薦者：岡本宝蔵会員

新入会員：田中美代子（たなか みよこ）氏



退職前は八王子市職員です。成長期の将来のある子供達の為に栄養士の資格を生かし、食べ物や健康管理に気を使って約4～5年周期で八王子の各学校を回りながら仕事一筋に40年の経験者。

四六時中子供達と接する機会が多いので気持が若く、素朴で一寸控えめながら几帳面な感じの人柄な方と思います。

人間の生きていく三要素の衣食住、その食について豊富な経験の持ち主、奉仕活動の経験歴は浅いようですが、積極的に地域に密着してチャレンジしております。年齢的にもこれからの当クラブの良き活力になり良き人材として期待される。

現在の奉仕活動：①元八王子コミュニティ推進会の役員として所属し、元八王子市民センター及び八王子住民協議会主催のセンター祭り、文化祭等の催事の橋渡し役をしている。②松子舞団地の後期高齢者を対象に、手作りの昼食会を開催して、皆様とコミュニケーションを図る奉仕活動をしている。

趣味：グルメ旅行、卓球、パソコン、日本史。

田中美代子会員挨拶（会員 No.116 会員委員会）

皆さんこんにちは、はじめまして田中美代子でございます。短大卒業後40年間、小学校給食の栄養士としての仕事一筋でした。地域活動には、子供会、自治会等の役員として参加する程度でした。これから皆さんにいろんなことを教えて戴き、自分の向上の為に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

下山会長から田中会員へバッチ贈呈



9. 幹事報告 荒幹事

(1) 会員状況

新会員 会員番号 116 田中美代子氏

会員総数 67名 休会 4名 稼働 63名

(2) 平成21年11月22日 八王子いちよう祭り第30回記念式典において、永年にわたり同祭典委員会会長として、その発展に尽力されたとして、大野聖二氏（初代・10代会長）に黒須隆一八王子市長から感謝状が贈られた。

(3) 平成21年11月15～16日第2回全日本プロバス協議会理事会・交流会が開催された。詳細は「全日本プロバス協議会 理事会・交流会報告」東京八王子プロバスクラブ会長下山邦夫 2009年12月10日発行参照。

10. 各委員会報告

(1) 例会委員会 宮城委員長

本日の出席者は53名、出席率は84%です。

(2) 情報委員会 八木副委員長

本日の臨時総会で、ホームページの作成は情報委員会が担当すること規約の中に条文化された。“ホームページ掲載基準（案）”を検討中です。

(3) 会員委員会 岡本委員長

- ・会員総数67名、休会4名で実働会員63名。
- ・会員各位の更なるご協力を得まして良き人材の新入会員のご推薦を宜しくお願いします。
- ・1月の例会時、後期会費+活動準備金を徴収いたします。

(4) 研修委員会 佐々木委員長

- ・野外研修は皆様のご協力でき滞りなく終了し、有難うございました。
- ・新規同好会として、第一回の美術館観賞会を実施しました。古代ローマ帝国の遺産展でしたが、次回以降は多くの対象を考えて、より楽しい会になっていったらと思います。
- ・1月例会卓話は特別講演「東アジア共同体構想をめぐる

国際的動向と課題

外務省参与 石垣泰司氏

(5) 地域奉仕委員会 土井俊雄会員

第14回生涯学習サロンの準備は順調に進めております。一般会員の方へのご案内は、1月に発送いたします。サロンの担当責任者として成功裏に終了できますよう努めてまいります。

(6) 交流担当 山崎理事

・全日本プロバス協議会理事会・交流会、ウェルカムパーティーには、多くの会員の参加、お手伝いを頂き有難うございました。
・先日、東京多摩プロバスクラブの忘年会に下山会長以下6名参加し、交流を深めました。

(7) 全日本プロバス協議会副会長 立川会員

・全日本プロバス協議会の交流会、ウェルカムパーティーのご協力に、重ねて感謝いたします。
・全国のプロバスの状況を説明された。
・来年9月12日、全日本プロバス協議会総会・理事会・交流会が旭川で開かれます。その企画の作成を進めています。多くの方のご参加を頂きたいと思っております。
・全日本プロバス協議会の全役員は、今般の理事会において全員揃って留任する旨、旭川の総会で決まる予定です。来年から引き続き2年間、副会長としてお手伝いすることとなります。皆様のご協力の程、よろしくお願いいたします。

1 1. 15周年記念事業について

(1) 杉山副会長 (イベント担当責任者)

・記念事業の骨子の説明
開催日：平成22年10月17日(日)
場 所：八王子市民会館
対 象：小学高学年の児童と父兄、中・高校生及び一般大人
第一部講演会「(仮)子供・宇宙・未来」
講演者 宇宙工学者 的川 泰典先生
・東京日野プロバスクラブ創立支援に関する説明

(2) 立川会員 (イベント担当責任者)

第二部演奏会 “君にとどけたい 愛のコンサート”

事業名：講演と視覚障害者の音楽家による演奏会
21世紀の青少年へのメッセージ
— 未来への夢と努力 —

(3) 矢島会員 (広報部門責任者)

・広報部門担当の業務
広報活動、記念誌発行、事業記録及びクラブ公報パンフレットの作成。
・記念誌発行について
(1)10周年記念誌に準じたものを発行する。
(2)配布は会員だけでなく、広報にも活用する。
※個人情報の部分については慎重に取扱う。
(3)基本的には、クラブ創設以来の簡単な項目を含めて、10周年記念誌発行以降の年度について内容の充実した記念誌を発行したい。
(4)掲載する顔写真はカラー編集としたい。

(4) 矢崎会員 (広報部門記念誌発行担当)

・15周年記念誌の編集に係わる資料の収集について説明がなされた。

(5) 武田会員 (広報部門事業記録担当)

・顔写真の撮影は、2月、3月例会日に行います。

1 2. 同好会報告

(1) お茶の会 (宮崎会員)

1月12日(火)初釜を行います。
皆様のご参加をお願いします。

(2) 写真の会 (矢島会員)

“河口湖・山中湖・新雪の富士の撮影会”
11月18日開催 五名の参加
“四季折々の撮影会”にご参加ください。

(3) 歴史の会 (土井俊雄会員)

開催日時：2月16日14:30~16:30
場 所：クリエイトホール
具体的内容：1月例会で資料配布。

(4) 麻雀同好会 (澤渡会員)

会は月一回(第3火曜日の午後)開催
第1回は1月19日(火)会場：ビオラ
参加希望者は申込用紙を提出ください。

1 3. プロバスソング斉唱



ピアノ伴奏：熊田真瑜美会員

14. 閉会挨拶 杉山副会長

今日は長時間にわたりお疲れ様でした。ビールも音楽（ピアノ伴奏）も生はいいですね！

それより何より、予定されていた卓話（知っているようで知らない身近な「からだ」の雑学 話し手：石田雅巳会員）は、盛り沢山の議事、伝達事項などで来年2月の例会に持ち越しとなり、大変ご迷惑をお掛けしました。

これから15周年行事、生涯学習サロンも展開してまいります。忙しくなりますが、クラブの発展の為に皆様のお力添えをお願いいたします。

ハッピーコインご紹介

◆宮崎浩平会員：11月22日、3歳の孫娘の多賀神社の宮参りを行った。鎌倉、室町時代以降男女3歳にて髪置⁽¹⁾、袴着⁽²⁾の儀式を行う習慣があり、それが現在の7、5、3の儀礼に残っている。(1)幼児は男女ともに頭を剃っていたが、3歳をもって初めて頭髪をたくわえ、頭に綿帽子をかぶせる。(2)平安時代以降、男女の童子が初めて袴をつける祝い。

◆吉田信夫会員：パソコン Windows 7 発売日の10月24日に、現品を見に行き、その2日後に購入しました。使い勝手が豊富になったのは良いのですが、使いこなすのに一苦勞です。プロバスだより169号はその成果です。

◆竹内賢治会員：「不振会社」ですが何とか年越しが出来るのではと思っています。スポンサー会社に感謝、感謝。

◆下山邦夫会員：11月の行事は数々あって、中でも全国交流会の好評はまことにハッピーでした。もう幾年かは無い機会に皆様で交流できて、良かった、良かった、良かった…。

◆有泉裕子会員：今年も残りわずか、娘家族も元気、私も元気で友人との交流、旅行ボランティア等かわれたことに感謝して！

◆岡本宝蔵会員：本日、田中美代子様が入会され、会員委員長としてこの上もない喜びです。会員の皆様どうぞよろしくお祈りいたします。

◆古川純香会員：どうやら無事で年を越せそうでハッピーです。

◆杉山友一会員：11月、研修委員会さんにお世話になりました。

◆大野聖二会員：先日、戸田副幹事さんから小銭入れをお届けいただきありがとうございます。中身より多めになっています。

◆橋本鋼二会員：絹や横浜に関わりの深い歴史上の人物として関係都県から6名がノミネートされ、横浜開港150周年協会からゆかりの自治体に感謝状が贈られました。「父義夫の横浜と八王子の繋がりに寄与した功績とその意を継承した市の努力」に対して八王子の黒須市長宛感謝状が贈られ、遺族として面はゆいですが、受章に立ち会いました。

◆宮城安子会員：今年も明るく元気に過ごせた。ありがたい事。そしてよろこび、感謝です。

◆高取和郎会員：先月末、京都へ紅葉を見に出かけました。哲学の道あたりを3時間ほど散策、バスツアーの旅でしたが、割合ゆっくりといくつかの寺を周り、丁度良い紅葉を見てきました。

◆八木啓充会員：横浜グリーンクラブ・ポルトガル演奏旅行を終えて。11/25～12/2 ユーラシア大陸最西端の国ポルトガルに演奏旅行をしてまいりました。パリやボローニャと並ぶ古い大学コインブラ大学 OB 合唱団との合同演奏会、交通の要所レイリアでの市を挙げての歓迎の中で、市民合唱団とのジョイントコンサートなど感銘の深い旅行を終えて帰ってまいりました。団員37名同伴15名で良い思い出の旅でした。

◆浅川文夫会員：実り多きこの1年に感謝して。

◆中野義光会員：私の誕生日は1月1日です。メデタイ日ですが年末年始でお祝いを忘れがち、損をしています。

◆佐々木研吾会員：11月野外例会での日本銀行見学、有難うございました。佐々木正委員長他研修委員会の皆様のご尽力で「日銀を見て貰いたい」という永年の私の宿願が果たされました。経済情勢の動きから目を離せない昨今、日銀の政策に一層の関心をお寄せ頂くとともに、日銀券を末永くご愛用下さるよう、お願いいたします。

◆佐々木研吾会員：11月21日、22日の“第30回八王子いちよう祭り”には、多数の皆様にご協力を頂き、まことに有難うございました。

おかげさまで今年も30万人を越す人出で賑わい、大きな事故もなく盛大なお祭りとなりました。また、写真撮影をお願いした下山さん、荒さん、市川さんには大変お骨折りを頂きました。いい写真を選んで、“いちよう祭り第30回記念誌”に載せることといたします。

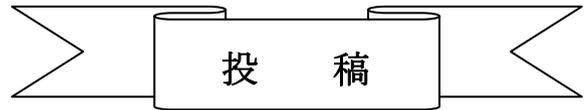




日かけて剪定しております。高さは3m位ですが上に登ると結構高いところで両手で作業するので危険な作業です。今年は2日で完了し思ったよりうまくケガもなく無事終了しましたので、ハッピーコイン申告しました。

◆飯田富美子会員：12月13日誕生日いよいよ大台に乗ります。古希という実感はなく、まだまだ施設で活躍しています。親からももらった健康に感謝しています。薬家であるのにまだ栄養剤以外治療薬らしいものは何も飲んでいません。「健康が何より第一」皆さんとともに来年も健康でありたいと祈っています。すばらしい皆様の仲間に入れて頂いたことに感謝しています。私の三男が昨年12月13日主人の誕生日に結婚し、昨日おめでたの報告があり大変うれしいです。

◆川村真会員：今年は2月に子供の結婚式、4月には母の100歳の誕生日、祝い事が続き良い年でした。



雑学

荻島 靖久



八月の例会で、投稿依頼書を情報委員会より頂き、題は自由、二千字以内とのことに、私にとっては、やさしいようで難しい。私は考えた結果、雑談と雑学のいずれかにしようと思い…雑学に決めました。

今迄、私が知り得たことを、余り堅くならず、おもしろく読み上げていただければと思い、第一～第六に分け、綴ってみました。

第一は、夕焼け小焼けとは、どんなことなのか、普通は、夕焼けというが、今は、夕焼け小焼けがきれいだ、明日は天気になるだろうと…本来は小焼けという言葉はない。

これは、中村雨紅が作詞した時の、語呂合わせで辞典にはのっていない。岩波書店の広辞苑にも載っていない。

第二は、困った時の神頼みという、ことわざがあるが、これは、人が精神的に弱い面があるからである。私は、神頼みでなく、あく迄人生の節目として、先祖代々からの神棚を祭り上げて、毎月一日と十五日には、榊と御神酒、お明りを神棚に上げて拝む。金持ちになりたいとか、偉くなりたいとか言う事ではなく、今日も無事にお勤めができたという感謝の気持ちと、月十五日には、中だるみもなく、お勤めができたという喜びと国家・家族の健康のため、無事に暮らせられたという人生の節目の報告である。

◆山崎修司会員：全日本プロバス協議会の①ウェルカムパーティー、②理事会、③交流会は盛会でした。会員の皆様に感謝。

◆澤渡進会員：わが家の年中行事 11月初旬のシブ柿のシブ抜き。12月初めの沢庵づくり。今年もお世話になりました。来年も良い年でありますように！

◆荒正勝会員：幼稚園が休園になった。孫も新型インフルエンザに冒された。神様、仏様お助け下さい！翌日、幸いにも平熱に戻った。ああ、タミフル様、あなたこそ新型の薬師如来です。

◆多村繁樹元会員：現在、東京西北ロータリークラブ副会長をしています。全日本プロバスの交流会に招待を受け皆様に会えてハッピー！

◆多村繁樹元会員：ゴルフコンペで前は優勝。今回はブービー賞ハッピーかな？

◆荻島靖久会員：何となくよいことをしたいからプロバスへ。

◆立川富美代会員：①②枚 全日本プロバス協議会 11/15 日ウェルカムパーティー楽しく終わりました。③④枚 11/16 日理事会無事終わりました。⑤⑥枚 11/16 日交流会皆さんに喜んで頂きました。クラブの皆様に感謝、感謝です。

◆下田泰造会員：毎年12月に門かぶりの松の木を3

美術鑑賞同好会の発足について

研修委員会 佐々木 正

今年度の「楽しみを分かち機会を増やそう」とのテーマのもと、新規同好会として「美術鑑賞同好会」を発足させることとし、さる12月1日、上野の「国立西洋美術館」で開催されている[古代ローマの遺産展]に行ってきました。急なお誘いであたこともあり、参加者は6名でした。



展示物の見方は、全体で1時間半くらい時間をとり、それぞれが自分のペースで自由に鑑賞することとしました。

この展覧会は、ローマ帝国の初代皇帝アウグストゥスによって創建された「栄光の都ローマ」とヴェスビオ火山で埋もれた「悲劇の町ポンペイ」に焦点を当て、古代ローマの魅力を存分に伝えようという企画ですが、鑑賞者にその意図は十分に伝わったように思いました。皇帝の肖像などの多くの大理石像は皆イケメンの面持ちでしたが、それよりも印象的だったのは、むしろ秤、ランプ、女性の装身具、食器など多様な生活用品類とポンペイから発掘された多くの壁画、さらにはポンペイの邸宅の遺構をコンピューター・グラフィクス技術を駆使して復元したリアルな映像などから、当時のローマ人の生活実態を垣間見ることができたことです。二千年前と現在と生活の基盤があまり変わっていないことの多さに驚いたというのが参加者共通の感想のようでした。

次回以降の進め方について、いろいろな意見をうかがいましたので、多くの会員が楽しめるような同好会に育っていくよう努めたいと思います。

編集後記：盛りたくさんの行事がありました。会員各位のご尽力に感謝します。新しい試みの「ハッピーコイン」多くの賛同を頂き紙面が明るくなりました。今期の予算にも寄与することでしょう。
情報委員長

第三は、植木の植栽についての一言、植木を友人から頂く時は、葉を刈り取って持ち帰ること。

ある友人の家を訪ねたら、我が家にはない木があり、ゆずってほしく願いでたら、「どうぞ」とゆうことに。丁寧に掘り取って、ありがたやともらって来て植えたのはいいが、根づく前に枯れてしまった。

日当たりも、土も悪くないのに、どうしたことだろうと…これは植木を大事にするあまり葉をそのままつけて、新聞紙にくるんで待ちかえったのだからだ。「駄目だよ。葉を刈ってこなくては…」以前、聞いたことを思い出した。本来なら、幹、枝も半分位、切りつめて、葉も三分の二位切り取ってくれば、たいていは根づく。いただいた方の前で、パチン、パチンするのは、気がひけるが、大切なことである。

又、剪定について、少しお話しします。植木の枝を切ることを庭職は縁起をかつぐので、「おろす」「飛ばす」「はさむ」という言葉で「切る」は避ける。切るは忌み言葉だという。

木も生き物だから切られたら痛がる。「その枝、邪魔だ、ぶった切ってしまえ」なんて手合いが時々いるが、そんな連中は仕事を見なくても、腕の程がわかる。たいていが中途半端な仕事しかできない。

第四は、着物の帯は二重か三重に巻くのが普通だが、江戸のばくち打ちは三尺（一メートルほど）の短い帯を一重に巻き、体の前で結んでいたという。

後から帯をつかまれても、腹の帯目を解けば、体の自由が利き逃げられる。捕り手に囲まれた時の用心であるとか。

第五は、「僕の恋人東京へ行っちっち…」守屋浩の「僕は泣いちゃっち」昭和三十四年の歌である。

それ迄は、三橋美智也の「哀愁列車」に〈惚れていながら行く俺に、旅をせかせるベルの音…〉のように、恋人を残して故郷を去る青年の感傷が歌われてきたが、高度成長の光が都会を照らし「去る悲哀」「残る悲哀」が入れ替わり、青年の嘆きはめずらしいものとなった。

第六は、第一を夕焼け小焼けで始まったので最後も夕焼け小焼けで終わりにします。

なぜ、夕焼け小焼けの歌が、日本中に広まったのか。

ある時、神田でピアノ輸入商を営んでいた鈴木亀寿氏が、児童文芸盛んな折から、ピアノを購入したお客様により良い童謡を無料で差し上げたいという希望から、「夕焼け小焼け」「ほうほう蝿」等五曲を一冊にまとめ贈ったのがきっかけとなり、特に「夕焼け小焼け」の童謡は、日本中に広がり、色々な所で歌われている。



鐘の音の寺は、どこということもなく、日本人の心の中にジンとくるのではなかろうかと思えます。